

3

新聞委員の小野さんと今村さんは、「時の記念日」について特集した内容を六月号の学校新聞に書こうと考え、次の【資料】を見つけました。これをよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【資料】 段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

「時の記念日」はどんな日？

- 1 昔の人たちは、空での太陽や星の動き方、水や砂すなの落ち方、線香せんこうの燃え方などで時間を計っていました。日本ではじめて作られた時計は、中国から伝わった「漏刻ろうこく」といって、水が次々に落ちていくことで時間を計る水時計であったと言われています。
- 2 「日本書紀」には、「天智天皇てんじてんのうの十年四月二十五日（今のこよみでは六七一年六月十日）に漏刻で計った時間を、かねやたいこを鳴らして人々に知らせた」と書かれています。このことから、大正時代になってこの日が「時の記念日」となりました。
- 3 「時の記念日」は、時間を守って行動し、規則正しい生活を心がけ、時間を大切にしようとする意識を高めていくために定められたとされています。
- 4 「時の記念日」は、国民の祝日には制定されていませんが、多くの人々によく知られる記念日となっています。
- 5 現在、六月十日には時間や時計に関する催しもよおが行われているところもあります。

(問い)

小野さんは、「なぜ六月十日が『時の記念日』なのか」、今村さんは、「なぜ『時の記念日』を設定したのか」についてまとめています。二人は【資料】のどの段落を中心に読めばよいですか。最も適切な段落を【資料】の中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

小野さん……

今村さん……